

平成27年度千島学説研究会東京セミナー

過ぐる一年は早いもので、また、東京セミナーの開催時期になりました。

東京セミナーでは、この何年かは、近代とは何か。近代主義とは何かをテーマに、考えて来ました。ですが、この謎解きは、難しいものだと痛感しています。さて、私たちの意識形成は、どのようにつくられてきたのでしょうか。

歴史認識も含めて、戦後秩序をつくりあげてきた朝日新聞やNHKの崩壊が、始まりつつあります。また、歴史の本当の姿が明らかになるにつれて歴史修正主義論争も海外も含め頭をもたげてきました。

第二次世界大戦後から今日までの世界史には、今までの常識では説明できない大きな疑問が存在しています。その謎を追求していくうちに、私たちは、現実とはまったく異なった世界情勢を信じこまされてきたことが分って来ました。との識者の物言いはすごい説得力があるように思えます

私たちは、自らの頭で学び、錯綜する情報を己の判断で行動していると思っています。

ですが、この世界を動かす何か大きな力が動いています。これは医学・医療の分野も同じです。医学・医療の分野をみれば、化学薬剤やワクチンで病気が治り、予防が可能であるとする考えが、まだまだ大手を振っているのが現実です。

ガン療法が典型ですが、手術は致し方ない場合もありますが、抗癌剤投与、放射線照射などは、殆んど意味をもたないどころか、悪化の最大の原因です。ところが、ガンを死病にするにすぎない現代ガン三大療法が標準治療として、保険の対象になっているのです。なぜ、この療法が、現代医学の最先端のガン療法だといえるのでしょうか。この問題も解き明かす必要があります。ガン治療を受けなかった患者は、三大療法を受けた患者の四倍も長生きできたとの報告もあります。

今セミナーでの『ガン座談会報告』で明らかになりますが、ガンから生還した方々は、医師の勧めるガン療法を途中で打ち切ったか、検査は受けても、治療は一切受けなかったの人です。私の周りにも医師のガン治療に最後まで付き合った方々は、凡て亡くなっています。唯の一人も治癒した方いません。それも、痛み、苦しみ、悲惨な最期を迎えています。

このような現実にも関わらず、多くのガン患者の家族は、医師の惜しみない治療努力に感謝しているのです。ガン療法に疑いすらもたないのです。

なぜ、このような意識が私たちの頭を蔽いつくしてしまっているのでしょうか。千島先生は、次のように述べています。『現代医学の医療ミス、医薬公害、医療荒廃や環境汚染をここのまま放置するならば、癌をはじめ慢性的難病、奇病、医原病などがますます増加して国民は誤った現代医学と医療の犠牲となり、一億国民の生命と健康が危機を迎えることは必至です。……ぜひ医学迷信、薬迷信などの洗脳から解放され、コペルニクス的革新の説といわれる千島理論を実生活に応用してください』。今日の現実を觀れば、先生の指摘した通りになっています

また、先生の云う、『もっとも恐るべき、警戒すべきものは、目に見えない高度の科学技術応用の人間誘蛾灯です。』が妙に心に引っ掛かります、この言葉の内実も解きほぐす必要もあります。

現代医学・医療はアロパシー医学・医療で成り立っています。アロパシー医学・医療とは、医師を始めとした医療従事者(看護師、薬剤師、療法士など)が化学薬物、手術、放射線を用いて症状や疾患を治療していく医学体系です。対症療法、西洋医学、正統医学とも云われています。

なぜ、アロパシー医学が正統性もちえたのでしょうか。近代医学の歴史をつぶさに検討すれば、医薬はまず石油会社がつくりました。そして、石油産業と製薬会社が、医師を取り込み、今日の医学を成り立たせたのです。外科的な治療を別にすれば、内科疾患には治癒できない療法です。九割の患者は薬漬け医療に曝されているのが現実です。農業もそうです。農薬・化学肥料たっぷりの農産物を食べさせられているのです。今セミナーで更に学び、自衛のための力をつけましょう。

平成27年度 千島学説研究会東京セミナー

- 1、日時 平成27年5月16日(土) 午後1時～17日(日) 午後5時
・会員総会(理事会報告を中心に) 5月16日午後12時20分～12時40分
- 2、会場 東京都豊島区医師会館4階 (親睦会...同室)
〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-22-16
- 3、会費 会員 ・両日参加4000円 ・1日参加2500円
 非会員 ・両日参加 5000円 ・1日参加3000円
 学生 ・両日参加 2000円 ・1日参加 1000円

参加申し込みは予約制です。会員の皆様には事前にセミナーの案内と郵便振替用紙をお送りしますので、郵便振替をもって参加可となります。他の方は、メール・電話・FAXにてご連絡頂ければセミナーの案内と郵便振替用紙をお送りします。尚、昨年度は申し込みが多数あり会場に入りきれなく多くの方々にご迷惑をお掛けしました。定員は80名ですので、参加希望の方は早めにお申し込みお願い致します。

4、主催 千島学説研究会

- ・セミナー実行委員長 鈴木一策 (理事・國學院大學教員・哲学)
実行副委員長 杉本徳仁 (理事・自然農法家) 稲垣実 (理事・薬局経営)
一ノ瀬宏 (理事・鍼灸和友堂)
- ・セミナー学頭 衛藤公治 (理事・衛藤クリニック医院長・医師)
副学頭 小松健治 (副代表理事・あうん健康庵庵主・医師)
小島秀樹 (副代表理事・小島国際法律事務所代表・弁護士)
酒向 猛 (理事・医師)

- 5、連絡先 千島学説研究会事務局 俣山房子 〒567-0001 大阪府茨木市安威2-24-13
TEL&fax 072-643-8579 e-mail:tishima@live.jp
千島学説研究会東京事務局 仁志天映 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘
1-19-2、4-6-106 TEL&fax 045-902-2034 携帯 090-2328-7016
e-mail:nishi- tenei@nexyzbb.ne.jp

6、会場案内図



- ◎会員総会 セミナー開始に先立ち、午後12時20分～12時40分まで会員総会を開催します。会員の方は出席の程、宜しくお願い致します。

第1日目 5月16日(土) 午後1時～午後7時30分

セミナー受付開始12時30分より

総合司会 小松伸子・高尾荘二

第1部 セレモニー

13:00～14:00

総合司会挨拶

小松伸子 (あうん健康庵・事務長)

開会の辞

鈴木一策 (理事・実行委員長)

代表挨拶

仁志天映 (病癒し所『天心』)

基調講演 『腸内環境と内科疾患』

衛藤公治 (理事・医師) (50分)

第2部 巻頭講演

14:00～14:50

『祈りの力と病氣治癒』

小松健治 (あうん健康庵・医師) (50分)

—————休憩(14:50～15:05)—————

第3部 会員報告

15:05～17:00

□ 『放射能禍・ワクチン被害・白血病の癒しも腸のリセットから』 (50分)

新野恵 (理事・サクセスアイ代表)

□ 『とりあえず90歳まで働こう—私の健康法—』 (一人10分)

・増本勝久 ・小島秀樹 ・衛藤公治 ・高尾荘二 ・畠中律 ・吉本エリ

第4部 閉会の辞

小島秀樹 (副代表理事・弁護士)

—————親睦会準備休憩(17:00～17:15)—————

第5部 親睦会

17:15～19:15

司会進行

小松伸子・高尾荘二

乾杯挨拶

赤峰勝人(会顧問・なずなグループ代表)

大いに語ろう

一発締め

杉本徳仁

◎マクロビオテック食(少々魚も入ります)、銀河高原ビール、自然酒、各種飲みものを用意します。
この会館では仕出しの弁当箱の処理ができませんので、大変申し訳ありませんが、各自お持ち帰り下さい。宜しく願い致します。後片付け、宜しく願い致します。

第2日目 5月17日(日) 午前10時～午後5時40分
(受付開始 9:30～)

総合司会 高尾荘二 小松伸子

第1部 セレモニー

総合司会挨拶 高尾荘二 (血液循環療法)

開会の辞 増本勝久 (副代表理事・(株)ホワイトマックス会長)

基調講演 『STAP 細胞事件の真相』 酒向 猛 (理事・医師) (50分)

巻頭講演 『石牟礼道子と千島喜久男』 鈴木一策 (理事・大学教員) (50分)

—————昼食休憩 (11:50～13:00)—————

第2部 13:00～14:40

『ガン座談会をふり返って—ガンはこうして治せ—』 小島秀樹 (副代表理事・弁護士)
——ガン治癒に関する質疑・相互討論—— (報告40分、質疑討論60分)

—————休憩 (14:40～15:05)—————

第3部 15:05～17:35

日本の農業を考える 『土の命・人の命』 赤峰勝人 (顧問・なずなグループ代表) (150分)

第4部 フィナーレ

・閉会の辞 衛藤公治 (セミナー学頭)

・一本締め 稲垣 実 (理事)

◎ 後片付け終了後、恒例の直会を近くの居酒屋で行います。ご都合のつく方は、ぜひご参加下さい。お互いにさらに交流を深め、元氣と勇氣を頂き、明日からの生き抜く力にして下さい。